



国文
特別図書
1965年度

国文
24L
1754 3



40.8.26

ア306531



物欄開場詩
 来、来、賜、顧、
 俏、看、官、
 行、首、且、頭、
 方、上、欄、
 拾、做、浣、花、
 浣、絛、霞、
 我、們、眼、只、
 向、場、觀、
 元人之作

山東京傳記

文化四年丁卯三月
稿成全五年正月發兌

○部目
 這稗史の院本雜劇
 以種として往古の
 奇談と集綴たる系
 寓言の昏ふしめられ
 ずまことしれぬ一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、



敵討天竺
 徳兵衛

全部六冊續

山東京傳作
歌川豊國画



文龜堂記

江戸高砂町
伊賀屋勘右衛門梓

○ 播州室の遊君夕和
 実ハ淡路国松保浦之漁人
 五郎又之妻也



播州高砂の
 浦の漁者わり
 実ハ純友の残黨

伊豫国の今張六郎
 とむい入ある



天竺徳兵衛



正生

○木久地家臣
唐寄志賀
之進常春

○備後国木久地曾根之助
義直の二子月若丸



正且

○月若丸
のめと
之姆
之殿
之の
魂

打譚

○庄屋木工助





月夜
あめ
うき

月夜
あめ
うき

月夜
あめ
うき

月夜
あめ
うき

月夜
あめ
うき

月夜
あめ
うき

月夜
あめ
うき

月夜
あめ
うき

月夜
あめ
うき

月夜
あめ
うき

月夜
あめ
うき



月夜
あめ
うき

月夜
あめ
うき

月夜
あめ
うき



〇當年山東京山作
 住板
 水鏡
 〇此の物語は、
 大正のころ、
 〇此の物語は、
 大正のころ、
 〇此の物語は、
 大正のころ、



〇此の物語は、
 大正のころ、
 〇此の物語は、
 大正のころ、
 〇此の物語は、
 大正のころ、

〇此の物語は、
 大正のころ、
 〇此の物語は、
 大正のころ、
 〇此の物語は、
 大正のころ、

